編集：JE6KEY 小島美佐子　No.011

クマデン KUMADEN 2012 8月
クマデンだより
http://www.kumaden.com
株式会社 熊電総業　熊本市東区江津3丁目4-23
TEL 096-379-9999　10:00～19:00 土日祝日も営業

FTDX3000 見てきました！

6/30, 7/1 の「第 36 回 九州 DXer's ミーティング」の八重洲無線ブースにおいて、国内では初めてとなる FTDX3000 の展示が行われました。

5 月のデイトンでの衝撃の（？）デビューから約 1 ヶ月半、ドイツの国際展示会から帰国したばかりの FTDX3000！　まだ試作機だそうですが、早くも「いつ出るのか」「いくらになるのか」などの話題で盛り上がっています。

まずはその勇姿から。大きさは現行の FT-950 と同じサイズです。キャリングハンドルもついているので持ち運びも楽ですね (笑)

実物のツマミは、写真より高級感があります。同心円のヘアライン加工も精緻でオシャレです。YAESU ロゴと FTDX3000 ロゴは印刷。ここはエンブレムにして欲しいかなあ。あとから WDXC で販売してくれるといいなあ (笑)

まだ試作機なので、ときどき不具合も出たりしますが、製品化に向けてセッティングを詰めているとのこと。ハムフェアー等ではまた少し違った姿になっているのかもしれません。たとえば、チューニングノブ上の VFO-A と VFO-B の選択ボタンは、現在 A が右側ですが、今後 A を左側に持ってくるそうです（確かに、ここは間違えそうで気になっていました）。

そして、YAESU 初となる、フルカラー液晶ディスプレイ。左側に縦に並んでいるのはボタンです。ここは液晶ではありません。バックライトで光ります。S メーターもアイコムのように動画表示となっています。なんだかピョコピョコ動いていましたが、針の戻りはセットモードの AGC DELAY で調整出来るようです。ただ、このあたりの感覚的な部分についても現在開発で詰めている最中とのこと。

写真では MENU1 となっていますが、ここはスペクトラムスコープと兼用となります。DNF、DNR の ON/OFF ボタンがないので気になっていましたが、この部分を十字キーで選択して ON/OFF するようになっています。

スペクトラムスコープですが、常時スイープさせると、受信部を占有してしまうのでその間音が出なくなります。

スコープユニット（おそらくオプションで出てくると思いますが）を取り付けると、受信中も常時スイープ出来るようになるとのこと。AUTO モードだと、受信中に一定時間おきに 1 回スイープしてくれます（音が途切れます）。IC-9100 や IC-7410 のスイープ機能のような感じです。途切れる時間はもっと短いですが。

実際のところ、スコープ表示よりも、常時 MENU 表示の方が使いやすい気がします。

発表されたパンフレットの写真ではスペクトラムスコープが目立つだけに、ちょっと残念です。

手頃な価格でスコープユニットが提供されればいいのですが。

受信部については FTDX5000 譲りのダウンコンバージョンダブルスーパー、シングル VFO です。ミキサー部については新設計とのことでした。筐体サイズもそこそこありますので、本体スピーカーでもかなり聞きやすい音質になっていました。

VRF は内蔵されておりませんが、ローバンドについては μ チューニングユニットを外付けすることができます。

これからどんどんブラッシュアップされて、いろいろな部分が改良されていくのだと思います。楽しみですね。ミーティング会場でも皆さん興味津々でした。

クマデンにパンフレットが届きましたので、どうぞご覧になってください。

（文：JA6WBR 宮崎）